

地域貢献：小学生を対象としたプログラミング教室

情報システム技術科 主任講師 菅原 智裕

スマートフォンの普及による情報発信・受信の多様化、AIの発展による自動車の自動運転や人間に勝利する囲碁や将棋ソフトの登場、IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどを活用した産業界における新しいビジネスなど、ICT（情報通信技術）は急速な展開が予想される。こうした流れは今後ますます加速し、社会構造や働き方なども大きく変化すると予想され、変革と多様性に対応できる人材をいかに育てるかが重要となる。2020年度から導入される小学校でのプログラミング教育必修化を盛り込んだ新学習指導要領の下での新たなプログラミング教育について検討するため、2018年に情産協との連携事業として小学生対象プログラミング教室を実施した。本教室では、Scratchを用いたビジュアルプログラミングと、プロロボを用いたロボットプログラミングの2つのコースを提供した。当日は菊陽町教育委員会の上川教育長、学務課の河野指導主事、菊陽北小学校の奥村校長も視察された。今回実施したプログラミング教室により、情産協と小学校および教育委員会とのつながりができたことで今後の組織的な広がりが期待できる。その最初の段階として、菊陽町教育委員会内で今回の取り組みが検討され、2019年度にプログラミング教育の教材としてプロロボを導入することが決定された。



Scratchによるプログラミング体験教室



プロロボによるロボットプログラミング体験教室